

令和2年11月9日

2学年保護者の皆様へ

伊丹市立伊丹高等学校
PTA会長 松澤 久美子
2学年部部長 岩崎 久美子

2学年保護者会だより

日増しに寒さが加わってまいりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。日頃はPTA活動へのご理解とご協力をいただきありがとうございます。10月16日(金)に開催しました「2学年保護者会」につきましてご報告をいたします。(参加人数：保護者126名、先生方10名、合計136名)

1. ご挨拶(野崎 雅弘 校長先生)

2学年の保護者の皆さま、こんにちは。今年はコロナ禍の状況において、異例の1年となっています。2学期のスタートも例年より早いスタートです。その分学期が非常に長く、また様々な行事が縮小されているため、授業中心の学校生活となっており、あまりメリハリのない単調な学期となっています。そういったことも勘案し、急遽学校行事として11月11日に遠足を実施する予定です。また後ほど学年から説明があるかと思います。

9月29日秋晴れの下、市高祭が開催されました。今年は残念ながら保護者の皆さまの声援が聞けませんでした。そこだけが、悔やまれるところですが、生徒の様子を見ているといつもの元気な生徒の様子を見ることができホッとしています。このような状況下ですが配慮しながらも実施してよかったと思います。

市高祭当日、今年第1回目の「中学生の進学希望調査」が発表されました。普通科348↑(昨年度312)、コース55↑(昨年度47)、商業21↓(昨年度36)でした。

おかげさまで、地域の方々から選んでいただける学校になりつつあることをうれしく思っています。これもひとえに、入ってくる生徒たちがそれぞれの持ち場で活躍してくれているからこそであります。

今月24日は普通科のオープンハイスクール、31日はコース、商業科の説明会があります。市高の魅力を発信してまいります。

修学旅行のお話をさせていただきます。キャンセル料がかかるギリギリまで実施の可能性を探りましたが、ベトナム修学旅行が催行できなくなりました。グローバル教育を標榜している本校としては、この海外修学旅行は大きな柱です。1年をかけて学年も準備をしてまいりました。それがこの回生で実施できなかったのは本当に断腸の思いです。しかし、本日は代替プランを国内という形で提示させていただきます。安全に配慮し、安心に実施できるよう準備してまいりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

最後に、本日は「卒業後にかかる教育費について」ということでファイナンシャルプランナーの下村啓介様のご講演があると伺っています。

自身も高校生を2人持っていた経験から、教育資金には苦労しました。特に最近多いのは、いざ大学、専門学校に合格したが、家庭の経済状況により、入学金・授業料が払えなくなり、入学を辞退する事案が増えていることです。特に今年はコロナ禍で、今後倒産する企業も増加する予測もあります。進学には多額のお金を必要とします。先ほど申し上げた事案については、まだ先のことでありますが、奨学金の制度もありますので、本校にもご相談をお願いいたします。

最後にお知らせです。11月24日～27日に授業公開週間を設けています。ぜひ、普段見ることがない授業の様子、生徒の様子を見に来ていただければと思います。また後日案内をさしあげますのでどうぞよろしくお願いいたします。

以上を持ちまして、私からの挨拶とさせていただきます。

2. 学年主任ご挨拶 (福村 泰彦 先生)

本日はお越し頂きありがとうございます。ある調査結果によると、進学にあたり保護者が最も重要だと考える情報は、1位「入試制度」2位「進学費用」とのことです。今回の保護者会を開催するにあたって、「進学費用」についての講演を準備いたしました、保護者の皆さまにとって有益な情報が提供できればと考えております。

後半は、修学旅行について説明があります。先日、修学旅行についてのお手紙を配付したところですが、2月22日(月)～25日(木)に沖縄県石垣島への修学旅行を実施する方向で今後進めてまいります。本日は、決定している内容までの説明となります。学年団一同、実施に向け万全を期してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

3. 講演会「卒業後にかかる教育費について」(ファイナンシャルプランナー 下村 啓介 様)

「大学・専門学校進学時の進学費用と進学費用を工面する方法」

1. 進路を決定する

一生を左右する仕事の起点は高校生の時の選択。

進学費用は長い人生のための自己投資となるように！

2. 進学費用を試算する

4つのポイント

①計算は最も金銭的に苦しいケースを想定する

第1志望ではなく、最も高くなる進学ケースにて試算。

②受験方法も確認する

総合型選抜や学校推薦型選抜は一般的に年内に試験があり、学費の納入も通常一般選抜より早い。総合型選抜は9月～11月頃、学校推薦型選抜は11月～12月頃、一般選抜は1月～3月頃。専門学校は大学と異なり、総合型選抜が大半なので、学納金を納付する時期が早くなるので要注意。

③希望する学校のデータで具体的に試算する

平均データより高額になって慌てないようにしましょう。進学費用は学校、系統により異なる。

④初年度の進学費用は入学前後に分けて試算する

入学前の費用を工面できる手段は限られている。(奨学金は通常入学後)

- ・入学金、授業料+設備費・実習費は学校案内にて確認
- ・入学後にかかる費用は授業料以外(通学費・食費・修学費・課外活動費・娯楽・嗜好費・日常費)も考慮
- ・入学までにかかる費用(受験料・交通費・宿泊費など)も見逃せない
- ・自宅から出る場合は住居準備費・住居費・食費などの費用を加算する

3. 進学費用を工面する手段を検討する

奨学金は学生が借りて学生が返す、教育ローンは保護者が借りて保護者が返す

・日本学生支援機構の奨学金

最もメジャーで使いやすい奨学金制度

貸与型(無利子の第1種、有利子の第2種、入学時特別増額貸与)と給付型があり、高校3年6月～7月頃に申し込む予約採用と在学採用がある。キャンセルも可能なので奨学金を利用する可能性がある場合は予約を。貸与型奨学金はあくまでも借金で将来返還が必要。

入学時特別増額貸与奨学金は入学後に振り込まれる制度だが、これを担保に「ろうきん」でつなぎ融資を受けられれば、入学前の費用に充当可能

・高等教育就学支援制度

入学金・授業料の減免、奨学金の給付。申込みはいずれも日本学生支援機構。所得要件(住民税非課税世帯及びそれに準じる世帯)、高校および進学後の成績要件などあり。所得要件は日本学生支援機構のHPの進学シミュレーターで判定を。

・その他の奨学金制度

大学等・民間・行政。制度や要件は様々。

・教育ローン

入学前に一括して支払う費用に充当できるが、審査があるので早期申込みを。

4. 74 回生修学旅行説明

- ・修学旅行の行き先及び内容の変更について（学年主任から）
- ・行程表について（近畿日本ツーリストから）
- ・現地対応について（近畿日本ツーリストから）
- ・保険内容について（近畿日本ツーリストから）
- ・中止する場合の判断とキャンセル料について（学年主任から）
- ・参加意向確認書について（学年主任から）

以上説明しました。保護者からの質問はありませんでした。

なお、参加意向確認書について、本日欠席のご家庭には生徒を通じて配付します。

5. 各クラス担任からクラスの様子及び市高祭を終えて（DVD 鑑賞）

・1 組担任から（小尾 貴恵）

2 年 1 組 G C コースは、2 年目を迎えるクラスということで、何気ない日常にも楽しみを見いだしてクラスメイトと共有しようとする姿勢が見受けられます。先日行われた市高祭でも放課後の練習や作業に多くの子達が積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。また、学習面においても小テストでクラス 40 人全員満点を目指して休み時間にも一生懸命勉強し、互いに教え合っている姿が日常化していることも、この 1 年の大きな変化だと思います。今後はそれぞれの進路実現に向けた段階的な目標達成に重点を置く指導を目指しております。

・2 組担任から（中村 須美代）

2 組は男子 19 名が理系、女子 21 名が文系のクラスです。真面目で学習に対する意識が高い生徒が多く、小テストなども頑張っています。クラス全員で受ける授業が少なく、年度当初はなかなか互いに声のかけづらい様子でした。2 学期に入り行事を通して、徐々にうち解けてきました。市高祭のビッグアートの製作は、文化委員を中心に女子が多く残って作業したり、部活動が終わった男子が手伝いに来たりと、協働作業に励んでいました。よさこいソーランやクラスダンスではアシスタントが大活躍でした。振り付けを考えたり、お互いに教え合ったりと学級全体の交流が深まりました。競技もマスク越しではありますが、盛大に応援する姿が印象的でした。2 年生も後半に入りました。受験を意識しつつ、行事も勉強も全力で取り組むよう指導していきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

・3 組担任から（野田 雅人）

3 組は、全員が理系のクラスです。クラスの雰囲気はかなり落ち着いており、穏やかで優しい生徒が多いです。例をあげるのであれば、日直ではない生徒が自ら日直の仕事を手伝い、手伝ってもらえた方はその事を素直に感謝できる素晴らしい光景なども見ることができます。また、市高祭では、クラス T シャツ作り、学年演技である「よさこいソーラン」を踊りました。文化委員や体育委員・ダンスアシスタントのメンバーの活躍もあり、素晴らしいものになったと思います。学習面では、コツコツと地道な努力を続ける事ができる生徒が多く、今後これまで以上の成長が期待できると考えています。来年は受験生になりますが、将来の進路実現に向け、遅くとも 1 月から受験生としてのスタートがきれるようにしていきたいと考えていますので、ご協力よろしくお願い致します。

・4 組担任から（野崎 啓太）

4 組は国公立文系志望の生徒のクラスです。全体的に勉強に対し、熱心に取り組んでいます。英語や国語の古典の小テストなどでも高得点を取り、クラスで勉強を頑張っていこうという意識が高いです。また、クラスは比較的穏やかで真面目な印象があります。しかし、先日の市高祭では、リレー種目を一生懸命応援するなど、みなで一つの目標にむかって頑張る側面も見ることができました。結果、学年では、1 位、全体でも 2 位の成績を収めることができました。今後は、今のクラスの雰囲気を維持しつつ、さらに進路に向けた勉強に取り組んでいってほしいと考えています。

・ 5組担任から（谷 裕美子）

5組は私立大学文系型のクラスですが、看護・医療系の大学や専門学校、また美容系専門学校への進学を希望している生徒もいるので、進路や将来に対する思いや考えが多種多様なクラスです。クラスは元気で賑やかです。その甲斐あって授業では反応がよく、科目担当者から「5組の生徒はおもしろい」「授業がしやすい」と言われることもあります。授業で分からないことがあると、周りの友だちと相談し、教え合いながら、積極的に授業に参加する姿勢が見受けられます。また、先日行われた市高祭では、展示物のビッグアートの作成やダンスの指導など、代表の生徒がクラスをまとめて行事に取り組んでいました。生徒たちが自主的・主体的に動いている様子に安心しています。今後は、生徒の進路実現のためにご家庭でご協力いただくこともあるかと思いますので、よろしくお願いいたします。

・ 6組担任から（樋口 綾美）

6組は私立大学または専門学校を目指している文系クラスです。クラスは物静かで落ち着いています。消極的な生徒が多く、1学期はあまり打ち解けられなかったようですが、市高祭を機に仲が深まり、クラスの雰囲気も柔らかくなったように感じます。進路に関してはまだ定まっていない生徒も多いですが、小テストや定期テスト、課題など、やるべきことはしっかりこなす生徒がほとんどです。行きたい大学ややりたいことなどが見つければスイッチが入って一気に伸びる生徒も多いのではないかと考えています。3学期が始まるまでにはある程度自分の希望を固め、クラス全体で希望進路に向けて突き進んでいく雰囲気を作りたいと思います。

・ 7組担任から（浦門 義人）

2年生の後半は全商の各種検定1級を狙う時期なので目の色を変えて学習に取り組んでいる生徒が増えてきました。もっと増殖して欲しいと思っています。少し学習に苦勞している生徒もいます。1級は無理でもベストを尽くして取れる検定を取得して欲しいと願っています。クラスは総じて明るい様子です。修学旅行の沖縄行きや遠足の決定について知らせた時は大いに盛り上がっていました。穏やかな雰囲気の委員長と、しっかり者の副委員長の組み合わせが絶妙だと感じています。最近は少し時間にルーズなところが出てきており、先日も注意をしたところでした。検定取得等、2年生後半は大事な時期である事を日々意識しながら共に過ごしたいと思っています。

このたびは、多くの保護者の皆さまにご参加いただきありがとうございました。最後になりましたが、当日ご協力いただきました野崎校長先生、学年主任の福村先生をはじめ、各クラスの担任の先生方には、お忙しい中大変お世話になりました。心よりお礼申し上げます。